

18 こ さ か 小坂

(秋田県小坂町)

注目ポイント！

- 明治の頃のモダンでハイカラなイメージを強調した地域のシンボル通り。
- 国重要文化財ながらも、生きた芝居小屋として活用されている「康楽館」や、ルネッサンス様式の「旧小坂鉱山事務所」などの復現後、観光客数が増加。

→ 小坂町の人口約6,800人に対し、康楽館の年間入館者約85,000人
(平成17年4月) (平成17年度)



日本最古の木造芝居小屋「康楽館」

コラム

康楽館における芝居や舞踏の常設公演では、地域や芝居を愛する多くのボランティアの方々により、支えられている。「康楽館友の会」は歌舞伎大芝居のお手伝いや、施設周辺の清掃と環境美化活動を積極的に行っており、お客様を気持ちよく迎え入れ、感動と興奮をお土産に、そして再び小坂に訪れて頂けるよう努めている。



康楽館友の会
会長 小原 茂氏

これまでの経緯

- | | |
|-------------|--|
| 昭和59年(1984) | アカシアまつりを開催する。 |
| 昭和60年(1985) | かつて鉱山額で全国一位だった小坂鉱山の厚生施設として作られた日本最古の木造芝居小屋「康楽館」の所有者である同和鉱業(株)が土地・建物を町へ無償譲渡。観光立町を目指す町と鉱山繁栄の時代への復興を願う町民の情熱により修復を開始。 |
| 昭和61年(1986) | 康楽館が秋田県指定有形文化財に指定される。外観と内装をほぼ建築当初の構造そのままに修復が完了する。7月2日のオープンとともに常設公演が始まる。 |
| 平成7年(1995) | 康楽館が面する通りを明治百年通りと名付け、明治期のモダンでハイカラなイメージを強調した道路が整備される。 |
| 平成11年(1999) | 康楽館入館者数が100万人を超える。 |
| 平成13年(2001) | 康楽館の隣接地に、明治の建築様式を残す旧小坂鉱山事務所が移築復元される。小坂鉱山病院記念棟と洋風園舎天使館も改修され、明治百年通りを中心に歴史文化ゾーンが完成する。 |
| 平成14年(2002) | 康楽館、旧小坂鉱山事務所が国の重要文化財に指定される。 |

明治百年通り

明治の頃の華やかな町並みを現代に再現。アカシア並木のこの通りは、貴重な文化的建造物が建ち並びモダンでハイカラなイメージとなっている。

癒しの空間、そして文化の拠点として親しまれているこの通りで、ボランティア団体が積極的に美化活動に取り組んでおり、多くの観光客を迎え入れている。



多くの観光客で賑わう明治百年通り

国重要文化財 康楽館

建物老朽化と機能低下により、興行が中止されていた康楽館。所有者から基金とともに土地・建物を譲り受けたことを機に町が修復に着手。

修復にあたり、著名な俳優、歌舞伎役者など多くの方々の助言もあり、町民のまちづくりに対する意気込みが高まった。町と住民の一体となった整備目標のもと、当時の面影そのままに復活。



文化遺産でもある芝居小屋内部

アカシアまつり

明治百年通りのほか、町に群生するアカシアは約300万本といわれ、まさに緑の海に浮かぶ町。

町中がアカシアの甘い香りに包まれる毎年6月、町民手作りのアカシアまつりを開催。

通りを歩行者天国として開放し、露店やイベントも盛り沢山に。多くの観光客が来訪。



平成18年で23回目を数えるアカシアまつり

国重要文化財 旧小坂鉱山事務所

明治からおよそ一世紀の間、現役事務所として機能していたが、隣接する製錬所の拡張のため解体することに。そこで、近代化遺産を活用したまちづくりを進めていた町が建物を譲り受け、明治百年通りに移築復元。

保存だけでなく積極的活用を図り、特に華やかなドレスを貸出し情緒あふれる背景を舞台に写真撮影できるモダン衣装室が好評。



好評の「モダン衣装室」

明治38年創建の小坂鉱山事務所

問い合わせ先

○小坂町産業課観光商工班

Tel : 0186 - 29 - 3908

<http://www.town.kosaka.akita.jp/>

○康楽館

Tel : 0186 - 29 - 3732

<http://www.town.kosaka.akita.jp/kourakukan/kourakukan.htm>